

事務事業名		学校開放事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					事業区分	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	3 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり						担当係	管理係	担当課長名	関口 吉丸		
	施策	1 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	15337	一般	10	5	2	学校開放事業							
	事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	佐野市立小中学校施設開放規則						
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業						
						任意的事業・義務的事業	任意的事業						
						実施方法	直営						
						事業分類	その他直接サービス提供事業						
						リーディングプロジェクト	該当						
						市長マニフェスト	該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
・市立小中学校の施設(体育館 施設、武道場2施設、校庭 施設)及び若宮球場の夜間開放に係る運営と校庭の夜間照明施設の維持管理を行う事業。市民が身近なところでスポーツ等に親しみ環境を提供する。開放期間等は、体育館及び武道館は平日の午後6時から午後10時まで。(土・日、祝日の昼間において一部開放あり。)校庭は3月20日から11月20日までの午後6時から午後10時まで。昼間は、若宮球場では毎日開放。小学校校庭は毎月第2土曜日の午前中が開放。利用料金は無料。利用するには団体登録が必要。登録資格は、市内に在住又は勤務する10人以上の団体。利用できる設備が施設によって様々であり、利用できる種目が施設によって異なる。管理人を置き、施設の鍵の管理、見回り等を行う。			・維持管理:校庭の夜間照明施設の修繕、電気料の支払い。 ・運営:運営委員会から提出された登録申請書の管理を行う。各学校からの行事予定報告を日程表に記載し、各運営委員会へ送付する。(運営委員会は各団体の施設利用日程を調整し日程表を作成し提出。)提出された日程表を各学校、管理人へ送付する。利用後は、各管理人から実績の報告あり、報告に基づき報酬の支払いをする。その他問合わせ等の対応をする。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			年間利用日数	日	6,716	6,338	6,432	6,432	6,432	
			年間修繕件数	件	8	3	3	3	3	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
・市民。 ・登録団体(10人以上の市内在住、在勤の団体)。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			人口	人	123,182	122,582	121,522			
			登録団体数	団体	296	299	303	303	303	
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
・各施設を不都合なく安全に利用できる。			年間利用日数	日	6,716	6,338	6,432	6,432	6,432	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
施設を有効活用している			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			スポーツ施設整備計画の達成度	%	-	-	30.0	35.0	40.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	10,657	6,493	9,321	9,321	9,321			
	事業費計(A)	千円	10,657	6,493	9,321	9,321	9,321			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償費	5,379	報償費	5,059	報償費	5,704	報償費	5,704
			消耗品費	9	消耗品費	4	消耗品費	145	消耗品費	145
光熱水費			1,167	光熱水費	986	光熱水費	1,820	光熱水費	1,820	
修繕料			798	修繕料	162	修繕料	1,323	修繕料	1,323	
通信運搬費			43	通信運搬費	44	通信運搬費	44	通信運搬費	44	
業務委託料			240	業務委託料	285	業務委託料	285	業務委託料	285	
人件費	人	1	1	1	1	1				
のべ業務時間	時間	200	200	200	200	200				
人件費計(B)	千円	778	788	788	788	788				
トータルコスト(A)+(B)	千円	11,435	7,281	10,109	10,109	10,109				

事務事業名	学校開放事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	--------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・事業開始年度不明。昭和50年頃、小中学校の施設及び学校予定地をスポーツ・レクリエーション活動その他の社会教育の普及並びに幼児及び児童・生徒の安全な遊び場を確保するために学校施設の開放事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・学校開放事業が開始されたときは、ナイター利用はソフトボール、体育館利用はバレーボールの利用が多かったが、利用者のスポーツ種目の多様化により、既存の施設に適合していないスポーツ等もあり、利用者のニーズに答えられないケースもでてきている。 ・旧田沼町、旧葛生町では受益者負担を取っていた。 ・市街地周辺の施設では高い頻度で利用されているが、山間部の施設の利用が少ないので、比較的用頻度の少ない施設への利用登録を図る。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・施設の老朽化、多様化する利用種目により、利用者、施設提供者双方より様々な意見がある。(使用備品、スポーツ種目の施設適合性) ・「体育館でフットサルをやりたいができる場所はないか」といった問い合わせがある。 ・学校や管理人からは「利用者のマナーが悪い」といった意見がある。 ・周辺住民から「人がいないのに電気がついていて、使っていないのに、もったいない」といった意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	①利用者のマナー改善の周知。
受益者負担の適正化	②報償費の削減。 ③受益者負担等について近隣市町の状況調査。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	・不都合なく安全に利用できる施設とすることで、利用者に安全で快適な施設を提供することができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	・佐野市立小中学校の体育館、ナイター照明施設を学校教育に支障の及ばない夜間に開放することにより、より多くの市民、団体がスポーツ・レクリエーション活動を行いやすくなるため、妥当である。学校、運営委員会など多様な調整が必要なため市が行うべきである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	・学校体育施設が円滑に利用されることで市民の生涯スポーツ・レクリエーションの振興と、健康維持・体力向上が望めるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	・年間の苦情件数は3件。学校や近隣住民からの苦情であった。 ・各団体や運営委員会に利用上の注意事項を徹底し、利用者のマナー向上を図るとともに、管理人に施設の開閉、見回りや照明の点灯時間などの指導を行う。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	・対象施設が多く老朽化も進んでおり事業費や人件費の削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	今後、受益者負担を求める必要がある	理由・改善案	・現在、学校開放事業については、使用料を徴収していない。近隣市町の状況等をふまえて今後検討していく余地はある。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
・市民が身近なところでスポーツ・レクリエーション活動を行う環境がなくなることになるため、廃止、休止はできない。 ・利用者がスポーツ等を楽しむ機会を奪ってしまう。学校開放を廃止した場合、市の3つの体育館へ行くしかない。しかし、現状でも3つの体育館は、利用頻度が高い状態である。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 受益者負担の適正化 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①利用者のマナー改善を図る。 ②使用料の徴収について検討する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			